

114
A5173
2

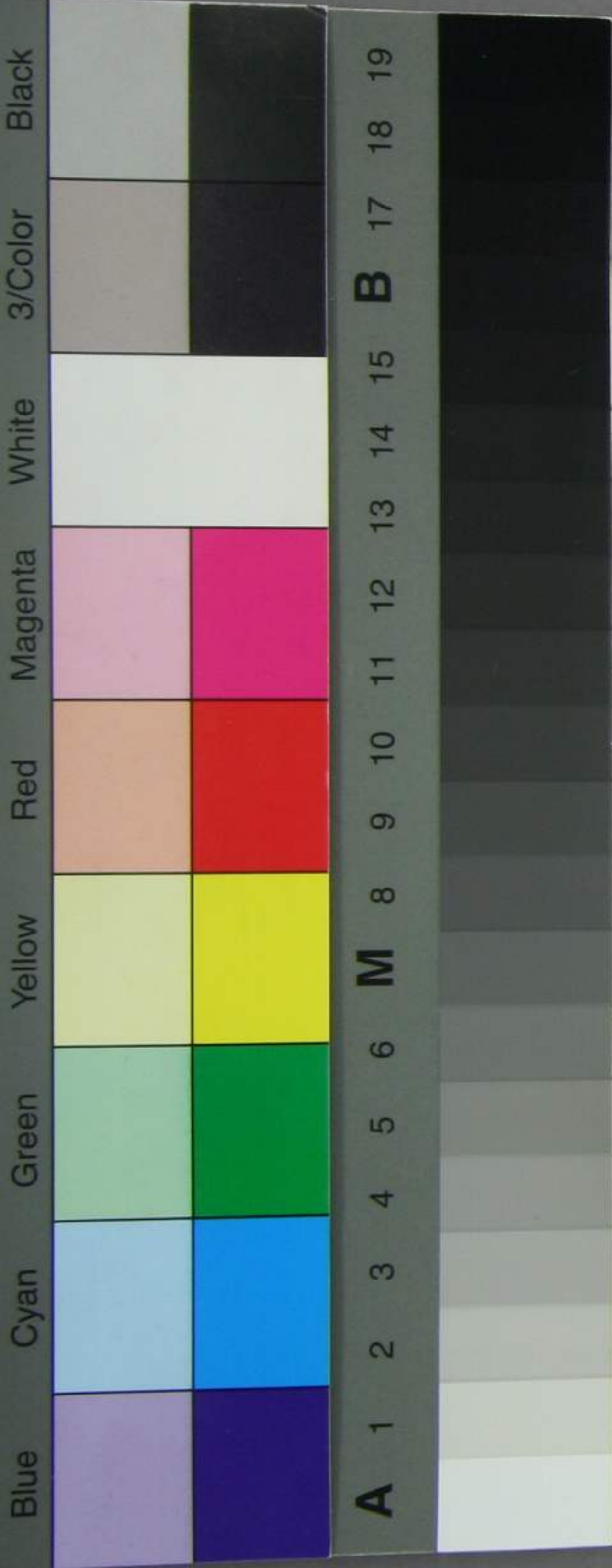
當取引所去ル十一日以後休業開會ノ略況ハ其際兩度ニ及御通報候處
委詳ノ儀ハ追テ可申上様御約束申置候ニ付左ニ其顛末ヲ列記シ更ニ
報道致候

一去ル十日半證據金徴收ノ期ニ臨ミ賣方仲買ノ一人某差入レヲ遅延
セシニ由リ督促致シ候内翌十一日朝ニ至リ仲買委員并ニ重立タル
仲買某ヨリ暫時立會猶豫ノ儀申出一同ノ請求ハ無餘議次第ト認め
一面督促ヲ爲シ一面猶豫ヲ與ヘ候ハ平穩無事ヲ旨トシ損害ヲ未然
ニ防遏スルノ手段ニ候處其寛恕ノ取扱ハ却テ紛議ヲ生スルノ基ト
相成同日終ニ本場立會ノ常務ヲ舉行シ能ハサル事ニ及ヒ候
一十二日朝場寄附ハ平常ノ通舉行致シ候モ敢テ差支有之間敷旨前夜
中委員ノ申陳ハ一同ノ企望ニ非ス却テ數名ノ仲買ヨリ委員マテ申
立候儀ハ中間壅塞役員ノ聞ニ達セサル等ノ行違ヒアリタル事朝場
立會ノ景況上ニ於テ諦認シタルニ付朝場限り同日ノ立會ヲ中止シ

東京米代又一斤

大正十一年四月
郵寄附月

A3179(2)



是ヨリ兩條背馳ノ根原ヲ取調ヘ終ニ仲買一同及ヒ前任頭取ヨリ仲
裁人ヲ要スルニ至リ候

一 仲裁人ハ同日ノ午后七時頃ヨリ改メテ取扱ニ從事シ百方周旋セシ
モ和解遂ニ成ラス十五日午後四時頃ニ至リ和談不調ノ旨ヲ前任頭
取ニ通知有之候

一 其起因ノ已ムヲ得ルト得サルトハ姑ラク之ヲ措キ紛議結テ十五日
ノ景況ニ陥リタル以上ハ實ニ已ムヲ得サル事件タルニ相違ナキヲ
以テ新任頭取ハ同日夕刻申合規則第八款第一條ニ照シ臨時休業ノ
揭示ヲ爲シ且此旨ヲ大藏卿ニ上申致シ候

一 休業以降ハ別ニ異常ノ事件モナク只約款規則ニ據リ普通平易ノ處
置ヲ以テ期日ノ受渡ニ錯亂違約等ノ事ナカラシニ謀リシノミニ候
一 廿一日ニ至リ仲買一同ハ連署ノ願書ヲ差出シ十一日以降ノ事一モ
故障可申立筋ナキニ付明廿二日ヨリ立會舉行相望候トノ文言精神

ハ全ク百事平穩ニ歸シタルヲ認メタルニ因リ乃チ廿二日ヲ以テ致
開會候

一 右ノ事件ニ付要シタル臨時費用ハ仲買集會費ノ補助等些少ノ額ニ
過ス追テ精算ノ上總會ノ日詳カニ報告可致候

一 今回ノ紛紜ニ付テハ世上ノ評論モ種々相起リ往々甚シキ虛妄ノ說
ヲ傳ヘタルヲ認メタリ右ハ御訊問ニ應シ何時ニテモ御答可致候
前條ノ通りニテ廿二日ノ商況前日ノ繁盛ニ異ナリ候儀無之且當株式
價位ノ如キモ各新聞紙商況報告ニ記載セシ如クニ候間御休神有之度
候也

明治十四年一月 日

東京 株式取引所

